

**製品名: リン酸化 CDK5 (Tyr15) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00933**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 33 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDK5 Cdk 5; Cdk5; CDK5_HUMAN; Cell division protein kinase 5; Crk6; Cyclin dependent kinase 5; Cyclin-dependent kinase 5; Protein kinase CDK5 splicing; PSSALRE; Serine threonine protein kinase PSSALRE; Serine/threonine-protein kinase PSSALRE; Tau protein kinase II catalytic subunit; TPKII catalytic subunit.
別名	
遺伝子 ID	1020
SwissProt ID	Q00535
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

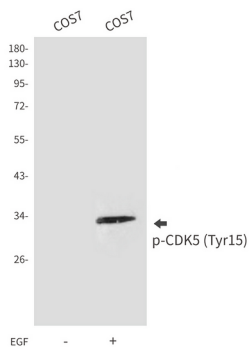
## 背景

サイクリンだけでなく、p35 (CDK5R1) および p39 によっても活性化される。脳の発達過程における神経細胞の配置を制御する重要な因子である。シナプス形成および神経伝達にも関与する可能性がある。基質としては、TAU、MAP2、NF-H および NF-M、Nudel、PDE6、 $\beta$ -カテニン、アンフィフィシン、ダイナミン I、シナプシン 1、Munc-18、NMDA 受容体 2A などが挙げられる。筋形成、造血細胞分化、精子形成、インスリン分泌、水晶体分化に関与する。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



リン酸化 CDK5 (Tyr15) 抗体を使用した COS7 溶解物中のリン酸化 CDK5 (Tyr15) のウエスタンブロット分析。